

主催者挨拶

総務省
総務大臣
松本 剛明

総務大臣の松本剛明でございます。今日はちょうど、実はご案内の方も多くいらっしゃると思いますけれども、巡り合わせで私の地元の姫路でこのように開催することになりました。ご来会を心から地元の者として、また総務大臣としてご参加いただいたこと、心から歓迎を申し上げたいと思っております。

地域力の強化に向けた全国市町村長サミット 2023 in 兵庫の開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げたいと思います。市町村の皆様方におかれましては、日頃からリーダーシップを発揮され、地方自治発展のためにご尽力をいただいておりますこと、心から御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。また今日は、それぞれお忙しい中オンラインでのご参加を含めまして、多くの市町村長の皆様をはじめ、約570名の方にご参加をいただいていると報告を受けております。重ねて厚く御礼を申し上げたいと存じます。



あわせて、本サミットの開催にあたりましては、齋藤元彦知事をはじめ、共催いただく兵庫県の皆様にも多大なご尽力、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

開会にあたってではございますが、まずこのところ台風、大雨により広範囲で大きな被害が発生しておりまして、お亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げ、また被害を受けられた皆様には心からお見舞いを申し上げたいと存じます。総務省としては被害状況などを踏まえながら、被災自治体の財政運営に支障が生じないように適切に対応いたしたいと考えております。

さて、本サミットは地域活性化に取り組む全国の地方自治体にあつて、そのトップである市町村長の皆様をはじめ関係の方々一堂に会して情報共有、意見交換を行うことで、地域活性化の一層の進展を図ることを目的として開催をするものでございます。今日は官民連携による地方創生をテーマとして、神戸国際大学の中村智彦教授に基調講演をいただくこととしております。また基調講演の後には、第一分科会で移住定住をテーマに弘前大学大学院の平井太郎教授に、また第二分科会においては地域経済の活性化をテーマにジャーナリストの三神

万里子さんにコーディネーターをお願いしております。皆様には積極的に議論を交わしていただいて、地域づくりの一助となることを期待しているところでございます。

少し総務省の取組についてもご紹介をさせていただければと思っております。総務省では令和 6 年度に向けた総務省重点施策を策定したところでございまして、活力ある多様な地域社会を実現し世界をリードする国づくりを目指して、活力ある多様な地域社会の実現に向けた地方財政基盤の確立、地域 DX、地域活性化の推進、地域 DX の推進を支える情報通信環境の整備、防災・減災・国土強靱化の進展による安全・安心な暮らしの実現、国際競争力の強化、国際連携の深化など世界をリードするための取組の推進などの施策に重点的に取り組んでまいるところでございまして。

地方財政につきましても、子ども、子育て政策の強化など、様々な行政課題に対応しつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、必要な一般財源総額をしっかりと確保してまいる決意でございまして。本サミットの主眼である地域活性化に向けては、地域おこし協力隊や特定地域づくり事業協同組合、ローカルスタートアップ支援制度などの取組を推進しているところでございまして。地域おこし協力隊につきましては、令和 4 年度に隊員数が 6,447 名、受入自治体も 1,116 自治体となり、隊員のおよそ 7 割、65 パーセントの方々が任期終了後も同じ地域に定住し、地域活性化の大きな力になっているかと考えております。今後令和 8 年度までに現役隊員数を 1 万人まで増やすことを目標に、各地方自治体における応募者数の増加やサポート体制の充実によるミスマッチの解消などの支援に取り組んでまいります。

あわせて、移住者などの安定的な雇用創出と地方における担い手の確保のため、特定地域づくり事業協同組合制度の活用を推進しているところであり、現在全国で 89 組合が認定を受けております。地域の仕事を組み合わせ、年間を通じて安定した雇用環境を創出することで、地方への人の流れをさらに促進できるものと期待しております。

また、ローカルスタートアップ支援制度については、地域から全国へのボトムアップの成長の推進に向けて、今年から創設したものでございまして。地域金融機関などと協調してスタートアップ支援に取り組む地方自治体を後押しするため、地域での事業立ち上げの各段階に応じてきめ細かく支援してまいります。地域おこし協力隊のみなさんが、それぞれの地域の魅力に惹かれて、各地域に定住をされるように、このスタートアップをしていこうというチャレンジ精神あふれた人たちは、それぞれの地域の魅力を非常によく感じてくれる方々ばかりではないかと思っておりますので、積極的なお取り組みをいただければと思っております。

なお総務省の現下の課題としましては、新型コロナウイルス感染症について、今年 5 月からインフルエンザと同じ 5 類感染症に移行されまして、総務省では新型コロナ対応に関して地方自治体との連携を推進してまいりました。これま

でのご尽力に改めて御礼を申し上げつつ、これからもしっかりと連携をしてみたいと考えております。

また、マイナンバーによる情報連携の一斉点検につきましては、現在対象となった自治体に対しまして点検作業をお願いをいたしているところでございます。総務省といたしましては、政府において地方自治体との連絡調整を担う立場でありまして、地方自治体と密に連携を取って、課題を丁寧に把握するように私から指示をしております。引き続き皆様の声をしっかりと聞き、マイナンバーの信頼確保に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、本日の全国市町村長サミットを契機として、市町村長の皆様を先頭に、それぞれの地域の特徴を活かした取組がより一層推進されることを祈念いたしております。総務省も、これからは地方自治体に寄り添う役所として努力してまいりたいと思っておりますので、皆様方にはぜひ総務省につきましてもご



理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。改めて各地域の発展を心から願い、祈念をして、私のご挨拶とさせていただきます。本日これからは皆様にとりましても有意義な時間となりますことを願っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。